



会 長 藤井 利則 副会長 佐藤壮一郎 クラブ会報 金田 君子
会長エレクト 本多 勝也 幹 事 橋本 哲弥

会長あいさつ

会長 藤井 利則



東京ロータリー・クラブの誕生

三井銀行常務取締役の米山梅吉は、1917年(大6)目賀田種太郎を委員長とする政府特派財政経済委員会の一員として、10月15日に渡米した。旅程は1918年2月9日までだった。

米山は単独で年末年始の休暇を利用して、テキサス州ダラスの三井物産支店を訪ねた。

支店長の福島喜三次はダラスロータリークラブの会員であったので、米山をクラブ例会にゲストとして招いた。この時米山は初めてロータリーと出会ったが強く心惹かれるものがあったのは間違いない。というのは米山は以前より苦学生の支援をを行い、また1914年(大3)には「新隠居論」を著し、社会奉仕に並々ならぬ関心を持っていたからである。当時米山は49歳、福島は36歳であった。

福島は1920年1月に帰国したが、帰国に際しダラスクラブから日本にもロータリークラブを作るように勧められ、1920年2月28日付けでシカゴのロータリークラ

ブ国際連合会(現在の国際ロータリー)から特別代表に任命された。しかし、福島は若輩の自分の立場から創立メンバーを募ることは困難と考え、米山に実質的な権限を託した。これを受けて米山は1920年8月に自ら18名を選び、銀行集会所でロータリークラブの創設を話し合った。

続いて9月1日に設立準備委員会、10月20日には創立総会(24名)を開催した。初代会長に米山梅吉、幹事に福島喜三次が選ばれ、翌10月21日にロータリーの本部に報告した。

日本におけるロータリークラブ第1号、東京ロータリークラブの誕生である。加盟承認は、1921年4月1日で登録番号は855号であった。2年後1922年に大阪クラブ、1924年に神戸クラブ、名古屋クラブ、1925年に京都クラブ設立と拡大は順調にすすんだ。

本日のご来賓紹介

県北第一分区ガバナー補佐
箭内 一典 様
補佐幹事 高橋 正見 様
補佐幹事 佐藤 龍史 様
(福島中央RC所属)

本日のプログラム

ガバナー補佐訪問

4・5月のプログラム

- 第1348回例会：4月27日(木)/ガバナー補佐訪問
- 5月4日(木)/休会
- 第1349回例会：5月11日(木)/本田会員スピーチ
- 第1350回例会：5月18日(木)/夜間移動例会(なごみの郷・香華)
- 第1351回例会：5月25日(木)/地区協議会報告会

幹事報告

2023-24年度地区研修・協議会のご案内

日時/令和5年5月13日(土)
午前11時～
会場/パルセいいざか

- 国際ロータリークラブ会長 ジェニファ・E・ジョーンズ(カナダ)
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐藤 正道(喜多方ロータリークラブ)
- 県北第一分区ガバナー補佐 箭内 一典(福島中央ロータリークラブ)

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 一、真実かどうか
 - 二、みんなに公平か
 - 三、好意と友情を深めるか
 - 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
承 認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
ク ラ ブ 番 号 29750
例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-8577
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677

第五回ガバナー補佐訪問



RI 2530地区
県北第一分区
ガバナー補佐
箭内 一典 様

本日が五回目のガバナー補佐訪問ですので、私にとって今回がガバナー補佐として最後の訪問となりました。

皆様には1年間大変お世話になりました。

さて、私の好きなロータリーの標語(モットー)に「入りて学び、出でて奉仕せよ」があります。

この標語は、福島ロータリークラブの例会場入り口と、福島南ロータリークラブの演台にも掲示されています。

この標語が好きだというロータリアンも多いと思います。私は例会場に入る時、この幕を目にすると背筋が伸びる思いがします。「多忙なロータリアンがこの例会の為に、集まっているのだから、内容のあるスピーチをしなくては」というプレッシャーでしょうか。

ご存じの方も多いと思いますが、この標語は1947-48年度RI会長のケンドリック・ガンシーさんの会長年度のテーマでした。英語では「Enter to learn, go forth to serve.」です。(図1)

(図1)



1人1業種で選ばれた会員が、例会では親睦を深め、お互いに研鑽し、奉仕の理念を学び、そして会場を出たら、職場・業界・地域社会で学んだ「奉仕の心」の実践をなささい」というメッセージだと私は思っています。

その後、この標語は世界のガバナーエレクトが一堂に集い、学習する国際競技会会場の入り口に1949年から2013年までの64年間、掲げられていたそうです。しかし、2014年には「Join Readers, Exchange ideas, Take action」に標語が書き換えられ、昨年までの9年間この標語が掲げられていました。

今年2月に右近八郎ガバナーエレクトの地区チーム研修セミナーが開催されましたが、右近ガバナーエレクトのお話では、今年のオークランドの会場入り口には、ただ「Welcome to the international assembly」と書いてある垂れ幕がかかっていたそうです。

最近の国際ロータリーが「職業奉仕の理念」から乖離して来ていると感じるのは私でだけでしょうか。私は、職業分類で選ばれた、職業人一人一人が、高い職業倫理観と高潔な人格を求めて行くのが職業奉仕であり、ロータリー共通の価値観だと思っていましたので、最近のRIの動きは、ライオンズクラブの「We serve」と違いがなくなって来ていると思います。

さて、今年度もあと二か月余りとなり、佐藤正道ガバナー事務所から各クラブがロータリー賞を獲得出来るよう支援するように通達が来ております。

ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰するものです。

ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、奉仕活動を活発化し、また効率的に運営するための一助となるとが期

待されます。

クラブ会長は、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある25の目標のうち、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を少なくとも13の目標を選びます。

(図2)

クラブセントラル 目標設定項目 ロータリー賞は13以上達成 (図2)

1 会員増強	14 奉仕プロジェクト
2 奉仕活動への参加達成	15 ローターアクトクラブ
3 新会員の推薦	16 インターアクトクラブ
4 ロータリー行動グループへの参加	17 未訪する青少年交換学生
5 リーダーシップ養成への参加達成	18 派遣する青少年交換学生
6 地区大会への出席	19 RYLA参加者
7 ロータリー親睦活動グループへの参加	20 クラブ戦略計画
8 地区研修への参加	21 インターネット上の存在感
9 年次基金への寄付	22 親睦のための活動
10 ポリオプラス基金への寄付	23 ウェブサイトとソーシャルメディアの更新
11 大口寄付	24 クラブのプロジェクトのメディア掲載
12 通増友の会員	25 ロータリー作成の公式推定費用の使用
13 ベネファクター	

会員の増強と参加促進 ローター財団への寄付 奉仕 若いリーダー 公共イメージ

さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。ただし、会員数や財団への寄付額は自動的に集計された数字が表示されます。過半数の13項目以上の達成がロータリー賞の条件です。昨年度の県北第一分区は全クラブロータリー賞を獲得しております。

今年度の3月末時点で、ロータリー賞獲得の条件の13項目を達成しているクラブは、福島RC、二本松RC、二本松あだたらRCと福島21RCの4クラブです。今年度も県北第一分区全クラブがロータリー賞を獲れるようご尽力お願いします。

次に、県北第一分区の会員数ですが4月15日現在で355名と、年度初めの7月1日の会員数に比べ12名の増加となりました。御覧の通り、福島RCさんが5名増の100名、二本松RCさん1名増の40名、福島南RCさんが1名増の66名、福島西RCさんが増減無しの24名、福島中央RCが1名減の46名、二本松あだたらRCさんが2名

増の37名、福島21RCさんが4名増の42名となっております。(図3)

県北第一分区の会員数の推移 (図3)

	2021/7/1	2022/7/1	2023 4/24	比較増減
福島ロータリークラブ	94	95	100	5
二本松ロータリークラブ	37	39	40	1
福島南ロータリークラブ	70	65	66	1
福島西ロータリークラブ	23	24	24	0
福島中央ロータリークラブ	50	47	46	-1
二本松あだたらロータリークラブ	35	35	37	2
福島21ロータリークラブ	41	38	42	4
合計	350	343	355	12

2530地区全体を見ると、今度初めの2165名から4月15日時点では2210名に増えており、45名の純増となっています。大幅増強となっているクラブを申し上げますと、富岡RCが13名増加で38名が51名に、本宮RCが7名増で34名が41名に、いわき平東RCが8名増で38名から46名に、会津若松南RCが5名増で14名が19名に、喜多方RC5名増で43名が48名に、浪江RC5名増で42名が47名に、また原町RCが5名増で21名から26名に、福島RCが95名から100名に、それぞれ増加しております。

ロータリー財団の寄付額状況です。

ご存じのように、地区目標は年次寄付1人あたり150ドル、ポリオ30ドル、ベネファクター恒久基金1000ドル寄付1名です。福島RCが年次寄付1人当たり241ドル、ポリオ41ドル、ベネファクター1名で、3項目の地区目標をすべて達成しています。福島西RCが年次基金とポリオ寄付の2項目をクリアしています、地区全体の平均は、年次基金58ドル、ポリオ15ドルで2月末の集計では全国34地区中31位と下位に低迷しています。

次は米山奨学金寄付額です。地区目標は今年度も普通寄付1人当たり5,000円、特別寄付

10,000円ですが、県北第一分区の全クラブが普通寄付は5,000円をクリアしています。特別寄付の1人あたり10,000円を達生しているのは、福島ロータリークラブの1人あたり12,663円と、福島中央ロータリーの10,851円の2クラブです。

また、2530地区の普通・特別寄付合計額の一人当たり寄付金額は、2月末集計では約9,500円で全国34地区中24位となっています。

さて、今年度の県北第一分区の事業ですが、全部で11の分区事業を各クラブにホストをお願いして、実施を予定していました。しかし、1番目の福島中央RCにホストをお願いしていたガバナー歓迎晩さん会が、県内の新型コロナ患者発生数が8月のお盆過ぎになっても、1日1,000人～3,000人で推移している状況を鑑み、中止いたしました。また、5番目の新世代会議は福島西RCさんがホストでしたが、参加者の高校生間

2022-23年度 県北第一分区 年間行事予定及びホストクラブ (図4)

序文行事	ホストクラブ	開催予定日 開催時間	曜日	会場	備考
1 ガバナー歓迎晩さん会 中止	福島中央RC	2022年8月26日 18:30	金	クローワーリアンテ	ガバナーへ記念品
2 新会員セミナー	福島RC	2022年9月14日 15:00	土	クローワーリアンテ	県北第二分区共同開催 川原川RC セミナーのみ
3 スポーツ大会	福島RC	2022年9月25日 10時開会～12時	日	まちなか広場付近	県北第二分区共同開催
4 フェローシップ (会員の健康増進・運動)	福島RC	2022年10月16日	日	とうほう・みんなのスタジアム	ボリメダ開催
5 新世代会議 中止	福島西RC	2022年11月26日	土	エルティ	
6 県北第一分区交際幹事セミナー	二本松RC	2022年2月4日	土	二本松 アーバンホテル	
7 インターフェイス・タイムズ (1・4)	二本松あだたらRC	2023年2月25日 13:00	土	二本松津路	
8 女性活躍推進研修事業	県北第一分区	2022年3月27日 14:00		二本松男女共学センター	2021-22年度選引推進事業
9 あれこれなんでも相談会	福島中央RC	2022年4月22日	土	462	
10 福島ゴルフ大会	福島南RC	2023年4月23日	日	武蔵コース	
【その他】					
X 福島市内18区合同新年賀会	福島西RC	2022年1月4日			

にコロナ感染が生じた場合、大切な時期の学業等に支障出るという事で、中止に致しております。8つの事業は、各クラブのご尽力で、予定どおり実施されました。(図4)

1年間、ご支援ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ニコニコ BOX

にこにこ BOX 小委員長 松坂 豪智

高橋正見様、佐藤龍史様、分区幹事・(福島中央 RC) 善方邦雄会員
橋本哲弥会員、藤井利則会員、本多勝也会員、坂本和広会員、佐藤壮一郎会員
阿部佳文会員、安部敏弘会員、齋藤敏夫会員

*米山記念寄与者…安部敏弘会員

*ロータリー財団…善方邦雄会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 小委員長 松坂 豪智

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
37名	18名	48%	4名	59%

ニコニコ BOX

目標額	500,000円
小計	18,000円
累計	459,000円